



あいだ さとる

## 相田 悟

弁理士（特定侵害訴訟代理業務付記）

「答えはお客様の中にある」をモットーに、お客様の話をよく聴いて、その内容を整理し、お客様に「考える余地」を提供することを心がけています。

知的財産の観点から、事業目標を達成するための「次の一手」を見つけるお手伝いをいたします。

### 略歴・経歴

2000.3 東北大学 工学部 材料物性学科 卒業

2002.3 東北大学 大学院 工学研究科 材料物性学専攻 修了（修士）

2002.4 - 2006.3 太平洋セメント（株）

【圧電セラミックス材料、積層型圧電素子、コンクリート中の鋼材腐食】

2006.4 - 2016.3 特許庁（任期付審査官）

【セラミックス、セメント、ガラス、無機化合物】

2016.4 - 京橋知財事務所

### その他

日本弁理士会 関東会 千葉委員会 副委員長（2021.4～2023.3）

日本弁理士会 関東会 千葉委員会 委員長（2023.4～）

知財セミナー、知財授業の講師経験多数

### 好きなこと

日本酒の飲み比べ

コロナ禍も少し落ち着いてきましたので、そろそろお店で飲もうかと考えています。

### 読書

最近面白かった本：「RANGE 知識の「幅」が最強の武器になる」（デイビッド・エプスタイン）

イノベーションや問題解決には、異分野との間の構造上の共通点・類似点を見つけ出す「アナロジー思考」が有効で、関連性の低い（離れた）分野の構造を適用するほど、その効力は大きいとのこと。

打合せ中に、私の突拍子もない発言から議論が盛り上がり、問題が解決されてしまったことがあります。これは「アナロジー思考」のお陰なんですね。